前回改定　多くのサービスで収益悪化
厚生労働省は12月28日、社会保障審議会介護給付費分科会を開催し、前回の介護報酬改定前と改定後の経営状況を調べた「介護事業経営概況調査」の結果を報告しました。
15年4月からの介護報酬改定で、改定率が全体で2.27%引き下げられたことで、21サービス中16サービスの収支差率が悪化していることが分かりました。
一方で、定期巡回や小規模多機能、看護小規模多機能は収支差が改善しています。
2017.10.18